

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 異種体内ヒト腎臓による腎再生医療の実装と薬剤性腎障害の克服
2. 研究代表者： 山中 修一郎（東京慈恵会医科大学 医学部 助教）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、マウス体内にヒト腎組織を再生させ、再生組織を持ったマウスに対し薬剤負荷を行うことでヒト尿細管障害の発生機序の解明を目指す。フェーズ 1 では、微量の細胞移植のために新たな微量注入装置を独自に開発するなど、キメラ腎再生を目指した研究を着実に進めた。フェーズ 2 では多角的に検討する計画となっており、着実な成果を上げられることが期待される。今後の研究進捗により、破壊的イノベーションに繋がる成果を上げて新たな病態発見につながる可能性に期待する。

以上